

入選

## あることから始まる近所付き合い

香川県 宇多津中学校 一年

徳武 ひな

夏休みが始まって1週間と少したった7月29日、いつも通りスイミングスクールに行きました。練習が終わり家に帰ってお風呂で水着を洗っていると、家の裏から水が流れる音がしました。最初は何かを洗っているのだろう、と思っていました。

30分くらいたってもまだ水の音がするので、家の裏にまわり見てみましたが、はっきり見えませんでした。私のお母さんも、水の音が聞こえて気になっていたようです。この日の数日前、香川県内で3日間水を出しっぱなしの施設があったニュースを思い出し、余計に気になりました。

そこで、お母さんといっしょに水が出ている家に行きました。見てみると、水があちこちに飛び散っていました。私は隣家との近所付き合いはありますが、裏の家とは近所付き合いがありません。そのうえ連絡先も知らず、しき地内に入っているのかという迷いもありました。

幸い、裏の方を知っている知り合いがいるのに気づき、お母さんが連絡しました。裏の方は家族で県外に行っているそうで、

「今、県外にいて止められないから、庭に入って止めてくれん？」

というメールが来ました。長時間水が流れていたのか、ホースが裂けて水たまりがたくさんできていました。ホースが裂けているなんて予想外でしたが、

「私がこの水を止めるしかない」そう感じました。

無心で水を止めに行くと、焦っていたのかもう一つの蛇口をひねってしまいました。少し落ち着くと違う蛇口だったことがわかり、水を止めることに成功しました。短パンとTシャツのすそから水が入ってきていて、全身びしょびしょになりました。

「はあ〜」と安心したのと同時に、水の吹き出し方と水たまりを見て、いつから水が出ていたのだろうと疑問に思いました。

次の日の夕方、裏の方がお礼に来てくださいました。

「県外に泊まりに行っていたので、とても助かりました。家を出たのは昼前で、午前中は庭で子どもがプールに入って遊んでいました。」

私が水を止めたのは午後4時半だったので、少なくとも4時間半は水が流れていたのでしょう。お礼を言われ、人の役に立てた実感がわき気分が上がりました。近所付き合いがなくなっている中で、このことをきっかけにお話することができて、よかったです。

毎日の生活の中で常にアンテナを張っていたら、困っている人を助けられるのではないのでしょうか。自然と「やさしさ」が見につくようになりたいです。